

サポート隊って どんな組織？

強制参加のP T Aを

できるひとが
できることを
できるときに

を
モットーに大改革し、令和2年度に
発足した「東谷中保護者組織」です。

■戦後アメリカから伝わったP T A■

民主主義を学ばせる目的のもと導入したP T A。アメリカではP T Aは、保護者から自発的に発足しているが、日本では国が主導して始まった。

■P T Aのストレス■

P T Aは「学校」や「会員」のための組織ではなく、「子どもの成長に必要な教育を考える」組織である。

P T Aは入学と同時に自動加入だったため、強制加入と思い込んでいた期間が長い。昨今、任意加入の周知が進んでいるが、義務意識が強く根付いた結果、未加入保護者の子どもには記念品を渡さないなど、子どもにも影響がでる。

そのため、任意となっても子どものために加入しなければならない「半強制」状態になっていた。

■ストレスからの解放■

東谷中はP T Aを辞めました
保護者が子どもたちのために
何ができるかを考える組織に
生まれ変わったのです

■サポート隊へ■

一人が声を挙げても
大きなことは成せません
だからこそその組織です

協力金って？

サポート隊の活動は主にボランティアです。

活動内容は、子どもたちの学び舎の維持管理のお手伝い、学校行事の援助等です。

それらには多少の経費が掛かります。

活動中の有事に備え、保険加入も必須。

しかし、皆さまからお預かりする以上の支出は行いません。

だからといって支出ありきの予算編成も致しません。

P T Aでは学校の備品、部活の援助、行事の援助等使われていました。

サポート隊では、支出は最低限に抑えます。

子どもたち皆が楽しく想い出を作り、それを保護者も共有するための支出を中心に…。

ここが気になる、こうしたほうがいいんじゃない？等、思うところがある方は、ぜひ…
スタッフとして立候補を！

サポート隊に名前が変わっても…。
作業量が多かったら、今までと変わらない。
作業量が多いと「公平」を求めます。
「公平」を求めると「強制」になります。
やらなければならないことが多いと
「できるひと」は集まりません。
だから”仕事”はやりません。

”仕事”はやりませんが、子どものために
何かがしたい！
だからボランティアを募ります。

ボランティアの 募集って？

・ボランティアを募るために手紙を配る
書面を作る／製版・印刷をする
クラス別に整理する／回収する
500枚ほどの回答の集計をする
シフトを組む

▲

どんな人でもできます。時間をかければ。
共働き、シングル、介護、家庭の
多様性が進む中、誰が担いますか？

・マチコミを使って配信する
メールを作る
全員に配信する
締切後、回答をダウンロード、集計
表計算ソフトでシフトを組む

▲

これ、1人で、数分でできます。
アプリ使用で簡単。経費も最小。
その間、他スタッフは企画等します。

マチコミ

Ⅱ

強制ボランティア？

違います！

マチコミでできること

・ボランティアの募集

「できるとき」をアンケートメールで伺います。「できないとき」にボランティアは頼みません。

・情報の共有

(タイムライン)

○学校からの情報をできる範囲で
タイムラインに掲載します。

○サポート隊活動報告を掲載します。

○管理人が独り言を時々呟きます。

(カレンダー)

○学校の予定をメンバー全員向けに
掲載します。

○購買部の予定をメンバー全員向けに
掲載します。

○サポート隊の活動予定を活動予定者
向けに掲載します。

(お知らせ)

○購買部の価格表を掲載しています。

2・3年保護者で前年度マチコミにご登録頂いていた
皆さまへ
管理人からお詫びです。
学年更新予告時刻に処理を行うことができず、同日
夜間、処理を行いました。
マチコミのグループ表示に「メンバー」表記のない
方は、改めてグループ登録をお願いします。